

第 108 回全国高校野球選手権大会

選手・観客の熱中症疑いについて

2026 年 8 月 22 日 大会本部

第 108 回全国高校野球選手権大会での選手・観客の熱中症疑いの発生状況について、概要をお知らせします。

今大会は暑さ対策のため、日中の暑さの厳しい時間帯を避ける 2 部制の時間帯で、第 1～10 日（8 月 5～14 日）に 33 試合を行いました。4 試合を行う日は「朝の部」1 試合、「午後の部」3 試合としました。過去 3 大会で熱中症疑いの発生が最も多かった午前 10 時半～13 時ごろの時間帯の試合を初戦で避けるためです。

第 1、2 日は午後の部のみとし、第 1 日は 16 時から開会式を行い、17 時半から 1 試合を、第 2 日は、前日に開会式に参加した選手の疲労を考慮して 16 時から 2 試合を行う日程としました。第 3～8 日は 8 時から 1 試合、13 時半から 3 試合を、第 9、10 日は 13 時半からの 3 試合）のみを行うことにしました（実際は雨天の影響で第 8 日第 4 試合を第 9 日の 10 時半からに変更しました）。

第 11～14 日（15～20 日）は 8 時から続けて試合を行い、第 15 日（22 日）の決勝は 10 時開始の日程としました。

●選手熱中症疑い

第 1～15 日の計 48 試合で計 16 件でした。このうち試合中に症状が出たのは 8 件、症状の影響で途中交代したとみられるケースは 3 件でした。試合後・クーリングダウン中に症状が出たのは 8 件でした。

昨年の 107 回大会は不戦勝 1 試合を除く計 47 試合で計 24 件でした。このうち試合中に症状が出たのは 19 件、症状の影響で途中交代したとみられるケースは 12 件でした。試合後・クーリングダウン中に症状が出たのは 5 件でした。

今大会で 49 代表が初戦を終える第 8 日（12 日）までの発生は計 9 件で全体に占める割合は 56%でした。107 回大会の初戦期間（第 1～8 日）の発生は計 16 件で全体に占める割合は 67%でした。

今大会の 2 部制の時間帯で開催した第 1～10 日（5～14 日）の 33 試合での発生は計 9 件でした。第 11 日以降の 5 日間 15 試合での発生は計 7 件でした。

今大会の第 11 日以降の計 7 件の試合別発生は第 1 試合 3 件、第 2 試合 3 件、第 3 試合 0 件、第 4 試合 1 件（決勝は 0 件）となりました。

気候の影響も考えられますが、例年、発生が目立つ各チームの初戦期間の件数、途中交代につながるようなケースが減りました。着替えたり、アイススラリーや補食を積極的にとったりと選手・指導者の熱中症予防への意識が高まっており、異変があったときの訴えも早くなっています。ベンチ裏に待機する理学療法士の早めの処置につながっており、発症を抑えたり、交代につながるような悪化を防いだりができているとみられます。

■108 回大会

《2 部制時（第 1～10 日）9 件の内訳》

第 1、2 日 0 件

第 3～7 日

朝の部＝6 件（第 1 試合 6 件）

午後の部＝3 件（第 2 試合 2 件、第 3 試合 0 件、第 4 試合 1 件）

第 8、9 日 0 件

《第 11 日以降 7 件の内訳》

第 1 試合＝3 件、第 2 試合＝3 件、第 3 試合＝0 件、第 4 試合＝1 件

※決勝はゼロ

■107 回大会＝計 24 件

《2 部制時間帯時（第 1～5 日）8 件の内訳》

午前の部＝3 件 第 1 試合 2 件、第 2 試合 1 件

夕方の部＝5 件 第 3 試合 4 件、第 4 試合 1 件

※開幕試合はゼロ

《第 6 日以降 16 件の内訳》（大会全体で計 24 件）

第 1 試合＝4 件、第 2 試合＝8 件、第 3 試合＝3 件、第 4 試合＝1 件

※決勝はゼロ

□107 回大会の 2 部制 初めて 4 試合日で 2 部制を行い、「午前の部」2 試合、「夕方の部」2 試合としました。第 1 日は 16 時から開会式を、17 時半から 1 試合を行い、第 2、3、5、6 日は 8 時から 2 試合を、16 時 15 分から 2 試合を、第 4 日は午前の部のみを行う日程としました（雨天の影響で第 3 日が夕方の部のみの開催となり、第 4 日に朝・夕方の部の 4 試合を行いました。2 部制の時間帯での開催は計 6 日間の予定でしたが第 6 日が中止となったため、実際は 5 日間の開催となりました）。

■106 回大会＝計 58 件

《2 部制時（第 1～3 日）8 件の内訳》

午前の部＝4 件（第 1 試合 1 件、第 2 試合 3 件）＝開幕試合はゼロ

午後の部＝4 件（第 1 日第 2 試合 1 件、同第 3 試合 2 件、第 2 日第 3 試合 1 件）

《第 4 日以降 50 件の内訳》

第 1 試合＝11 件 第 2 試合＝15 件 第 3 試合＝19 件 第 4 試合＝5 件

□106 回大会の 2 部制 初めて 2 部制を導入し、3 試合日で実施しました。第 1 日は「午前の部」として 8 時半から開会式、10 時から第 1 試合を、「夕方の部」として 16 時から 2 試合を行う日程としました。第 2、3 日は午前の部として 8 時から 2 試合を、夕方の部として 17 時から 1 試合を行う日程としました。

■105 回大会＝計 34 件

第 1 試合＝12 件、第 2 試合＝18 件、第 3 試合＝3 件、第 4 試合＝1 件

※決勝はなし

●観客の熱中症疑いでの救護室受診状況

地元病院の協力を得て、大会中は球場敷地内に救護室を設置しています。大会を通じた観客の熱中症疑いによる救護室受診は 162 件でした。107 回大会の 155 件から 7 件の微増となりました。

また今大会の 2 部制時間帯時（第 1～10 日）の熱中症疑いは 82 件、1 日平均 8.2 件でした。第 11 日以降は 80 件で 1 日平均 16 件でした。

過去 2 大会の 2 部制時間帯開催時は、2 部制を実施していない時と比べて、観客の熱中症疑いによる受診が減る傾向が顕著でしたが、今大会も同じ傾向が見られました。

【観客の熱中症疑いでの救護室受診】

■108 回大会

2 部制時間帯時（第 1～10 日） 計 82 件、1 日平均 8.2 件

第 11 日以降 計 80 件、1 日平均 16 件

■107 回大会＝計 155 件

2 部制時間帯時（第 1～5 日） 計 19 件、1 日平均 3.8 件

第 6 日以降 計 136 件、1 日平均 13.6 件

■106 回大会＝282 件

2 部制時（第 1～3 日） 計 34 件、1 日平均 11.3 件

第 4 日以降 計 248 件、1 日平均 22.5 件

□学校枠観客の救護室受診状況

今大会の学校枠観客（学校応援団）による救護室の受診（熱中症疑いだけでなく、けがなどを含む）は大会を通じて計 83 件でした。2 部制時間帯時は計 49 件、第 11 日以降は計 34 件でした。

■107 回大会

2 部制時間帯時（第 1～5 日） 計 7 件

第 6 日以降 計 46 件

■106 回大会

2 部制時間帯時（第 1～3 日） 計 5 件

第 4 日以降 計 113 件

■105 回大会 計 127 件

□応援団臨時休憩所の利用状況

主に学校応援団の生徒向けに一、三塁側アルプス席そばに空調がきいた応援団臨時休憩所を設けています。休憩所にはアイススラリー、スポーツ飲料、塩分タブレットなどを用意しており、近年、吹奏楽部員やチア部員を中心に積極的に休養をとるよう呼びかけています。今大会は計 7375 人が利用しました。

105 回大会は 437 人でしたが、106 回大会は計 5322 人、107 回大会は 4847 人、今大会が 7375 人となっており、応援団臨時休憩所の活用が定着していることがわかります。学校側の熱中症予防に対する意識の高まりが背景にあると考えられます。

以上